

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

興本扇学園 足立区立扇中学校

【取組内容①】作成したGoogleスライドを用いて、下級生に心の授業を行うとともに、即時のフィードバックを通して内容を深めたり、発表内容を高めていく活動を行っている。



中学校2年生が、昨年度から国際コミュニケーションの授業で行っている「心の授業」を、下級生（6、7年生）に伝える授業を行った。まず、班で1つのテーマを決め、それに対しての内容をGoogleスライドで発表内容を作成した。準備時には、伝わりやすいフォントやスライドに合わせたセリフを班のメンバーと試行錯誤していき、常に「どうしたら分かりやすい発表になるのか」を意識しながらスライドを作成した。そのことが、視覚的にも分かりやすいスライド作りにつながり、下級生が学校生活の中ですぐに実践できる内容を紹介することができた。スライドを作成する時の発表は、各班が1時間（50分）の中で3回の発表の機会（15分×3回）があった。当日は、発表・タイムマネジメント・振り返りを生徒のみで行った。また、発表後、すぐにGoogleフォームでアンケートをとることで、スプレッドシートを用いてタイムリーに結果を見て振り返りを行うことができた。それにより、発表の回数を重ねる度に、発表内容や児童生徒との即興のやり取りが向上していった。